

目次

1面

戦争法案の強行採決を許すな！

沖縄の闘いとともには平和の道を歩もう

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

暴言の元凶は安倍首相

「報道威圧・沖縄侮辱」発言の背景

山口正紀（ジャーナリスト）

2面

二〇一五年ヤスクニ・キャンドル行動

一〇年目の呼びかけ

（共同代表）今村嗣夫、内田雅敏、大口昭彦、金城実、菅原龍憲、鈴木伶子、辻子実、徐勝、野平晋作、服部良一、高金素梅、飛魚雲豹音楽工団、李錫兌、李熙子

「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録をめぐる

過去の消去が今日の暴力を醸か もしている

李英哲（朝鮮大学校教員）

3面

《2015 夏季釀金アピール》

安倍政権の戦争法案を共同して葬り去ろう！

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

J R・私鉄のレール溶接労働者がスト

ストライキで闘う労働者を支援しよう！

田沼久男

緊急作業時の被ばく限度引き上げ反対

原子力産業の都合で法令をねじまげるな！

中村泰子

4面～5面

南沙諸島問題と米中の確執

根拠を欠いた安倍政権の「中国脅威論」

浅井基文（国際問題研究者）

ギリシャ政府のEUへの新提案について

新たな「左翼」の覚書に反対

ギリシャ共産党

6面

書評『中野秀人作品集』（中野秀人著企画・編集：福岡市文学振興事業実行委員会）

詩という批評、闘争という科学

加部洋祐

書評『平和憲法の深層』（古関彰一著）

「押しつけ憲法論」くつがえす史実

飯島 聡

前号の演劇評「マイノリティの陥穽」に違和感

危ない輩、場から「逃げる」ことは権利

大橋省三

7面

書評『辺野古 豊里友行写真集（増訂版）』

東京の無関心を穿つ

日向よう子

新刊案内 『歴史は墨でぬりつぶせない—アジアの歴史と女性の人権』（中原道子著）

映画『ルック・オブ・サイレンス』（ジョシュア・オッペンハーマー監督）～インドネシア
反革命「九・三〇事件」を描く映画公開に寄せて

映画がわたしたちに提示していること

倉沢愛子（インドネシア社会史研究・慶應義塾大学名誉教授、『9・30
世界を震撼させた日』（岩波書店 2014年）著者）

前照灯 磨け！ 批評眼！

催物案内

8面

<映画> 『“記憶” と生きる』（監督＝土井敏邦／製作＝二〇一五年）

元「慰安婦」のまなざしと声を受け止める

野田光太郎

頂門一針 大同団結の陥穽

民主主義の破綻

神奈川美術館鎌倉本館閉館から考える

宮田徹也（日本近代美術思想史研究）

編集部発